

ほくと

No.35

社協だより ほのぼの

誰もが安心して暮らせる支えあいのまちづくり



シニア生き生き講座開催

「老い支度を整える。人生を振り返り
まとめる！」をテーマに、想いを綴っ
たエンディングノートを作成しました。



社会福祉法人
北杜市社会福祉協議会

〒408-0011 北杜市高根町箕輪新町 50 番地
TEL 0551-47-5202 / FAX 0551-47-5206
e-mail h-shakyo@ap.wakwak.com
URL <http://www.shakyo.or.jp/hp/842/>

- 理事・監事・評議員紹介、寄附お礼… P2～P3
平成 26 年度決算報告及び事業報告
- 地域福祉課情報発信…………… P4～P5
- 地域福祉課情報発信、社協会費お願い…… P6
- 社協の介護事業所…………… P7
- コラム、杜のボランティア…………… P8

北杜市社会福祉協議会理事・監事・評議員紹介

平成27年6月1日より、理事・監事・評議員が改選されました。

任期は平成27年6月1日～平成29年5月31日になります。



会長 茅野光一郎



副会長 島口 邦昭



副会長 深澤 武子

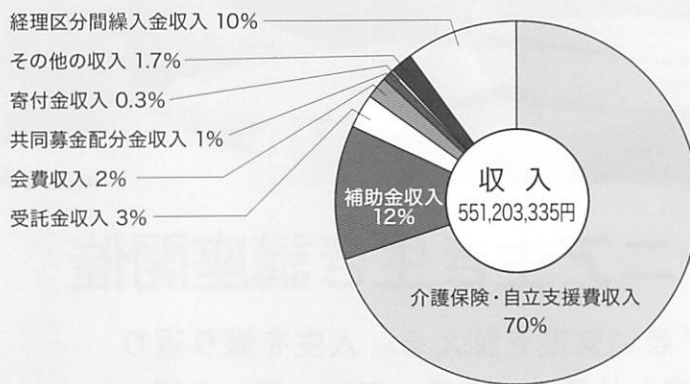
理事 (14名)	
会 長	茅野 光一郎
副 会 長	島口 邦昭
//	深澤 武子
理 事	五十嵐 博司
//	藤原 良一
//	坂本 洸二
//	小松 正壽
//	浅川 一紀
//	根津 千佳子
//	日野水 丈士
//	堀内 美恵子
//	長坂 祐光
//	栗澤 雅子
//	平井 光

評議員 (29名)				
明野町	小林 芳弘	遠藤 均	篠原 茂	
須玉町	櫻井八州彦	篠原千恵子	輿水 富男	浅川百合子
高根町	利根川 昇 五味 久代	白倉 満代	清水 京子	歌田 吉雄
長坂町	清水 謙雄	井出 邦代	小林 初男	
大泉町	斉藤 清明	浅川 清	浅川 正彦	
小淵沢町	坂本 興一	遠山 康男	進藤 玲子	
白州町	古屋 賢仁	山田かづき	赤羽 素子	
武川町	山口 敏行	三澤 完広	日向 三郎	小野 和代
市役所	平島 長生			

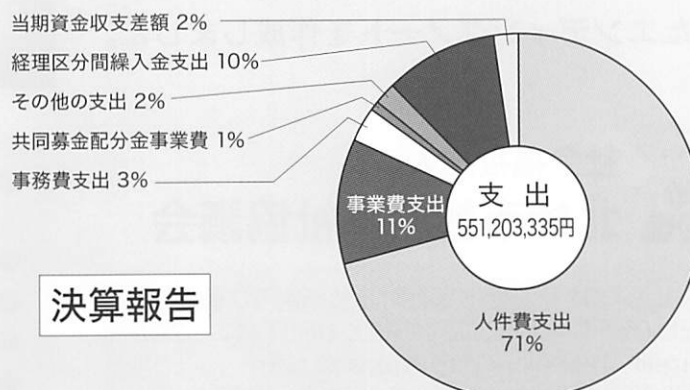
監事 (3名)		
浅川 重光	入江 薫	中沢 朝征

平成 26 年度決算及び事業報告をお知らせいたします

収入の部	決算額
介護保険・自立支援費収入	386,325,808
補助金収入	63,223,000
受託金収入	17,991,315
会費収入	12,821,000
共同募金配分金収入	6,327,271
寄附金収入	1,937,472
その他の収入	7,391,469
経理区分間繰入金収入	55,186,000
収入合計	551,203,335



支出の部	決算額
人件費支出	390,880,938
事業費支出	61,465,989
事務費支出	15,676,944
共同募金配分金事業費	6,327,271
その他の支出	8,833,916
経理区分間繰入金支出	55,186,000
当期資金収支差額	12,832,277
支出合計	551,203,335



決算報告

事業報告

法人運営事業

- 1 理事会・評議員会・監査等の開催
- 2 職員研修
- 3 職員資格取得の推進
- 4 関係機関との連絡調整
- 5 災害対策（事業継続計画（BCP）の策定）

受託事業

- 1 北杜市受託事業
 - はつらつシルバー事業（介護予防普及啓発事業）
 - 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業
 - お楽しみ給食サービス事業
 - 介護支援ボランティア事業
 - 手話奉仕員養成講習会
 - ふれあい広場事業（通所型介護予防事業）
 - ふれあい処事業（介護予防・日常生活支援総合事業）
- 2 地域委員会事業
 - 一人暮らし会食事業
 - 地域ふれあい交流事業
 - 給食サービス事業
 - 地域福祉活動支援事業
 - ボランティア活動支援等福祉に関する事業 等

介護保険事業・障害福祉サービス事業

- 1 訪問介護事業
（ホームヘルプサービス）
 - 訪問介護・介護予防訪問介護
 - 障害福祉サービス
 - 地域生活支援事業
- 2 通所介護事業
（デイサービス）
 - 通所介護・介護予防通所介護
 - 障害福祉サービス
- 3 居宅介護支援事業
（ケアマネジャーによるケアプラン作成等）
- 4 苦情解決の取り組み

地域福祉推進事業

- 1 ボランティア活動推進事業
 - ボランティア活動基盤整備
 - ボランティアセンター施設貸し出し
 - ボランティア推進大会
 - 読み聞かせボランティア養成講座
 - ボランティアリーダー研修
 - 災害ボランティア事業
 - ボランティア研修事業
 - 先進地視察研修
 - ボランティア講師派遣依頼の連絡調整
 - 学童・生徒のボランティア活動普及校事業
 - 福祉教育・学習会
 - ボランティア体験学習会
 - 傾聴ボランティア養成講座
 - 介護技術レベルアップ研修
 - 食品管理・衛生管理研修
- 2 地域福祉活動の推進
 - 家族介護者交流会事業（元気回復のつどい）
 - シニア生き生き講座
 - 福祉車輦・福祉機器等の貸し出し
 - 北杜市健康福祉大会2014
- 3 児童福祉事業
 - 子どもの遊び場整備事業
 - 出産お祝い品贈呈事業
 - ハッピーフリーマーケット事業
 - 安全パトロール事業
- 4 広報啓発事業
 - 社協ホームページの更新管理
 - 社協だより「ほのぼの」の発行
- 5 援護対策事業
 - 生活福祉資金貸付事業
 - 北杜市社会福祉金庫貸付事業
 - 居室整備資金貸付事業
 - 日常生活自立支援事業
 - 福祉総合相談事業
 - 無料法律相談の開設
- 6 共同募金配分金事業
 - 赤い羽根共同募金運動事業
 - 歳末たすけあい運動事業
 - 配分金事業
- 7 各種団体との連携
 - 北杜市老人クラブ連合会
 - 北杜市母子父子寡婦福祉連合会
 - 北杜市身体障害者福祉会
 - 共同募金会北杜市支会
- 8 第2次地域福祉活動計画の進行管理

あたたかいご寄附をありがとうございました

平成27年4月～6月

妹尾 厚文 様	金 80,000 円	白州地域交流の会 様	金 65,242 円
小尾喜久恵 様	金 100,000 円	板山 保一 様	介護用ベッド（電動）

元気回復のつどいに参加してみませんか

在宅介護をしている方の交流会「元気回復のつどい」を隔月で開催しています。
在宅生活を継続するためには、介護者の方が悩みを一人で抱え込まないで日々の様子や悩みを語り合うことが大切です。
ぜひご参加ください。《各回定員：20名》

開催日時	場 所	内 容
9月17日(木) 10:00～11:30	北杜市社会福祉協議会	介護に役立つ制度を知ろう ～障害・税金・医療保険など～
11月19日(木) 10:00～12:00	市内高齢者施設	介護保険関連施設見学
1月21日(木) 10:00～11:30	北杜市社会福祉協議会	介護に役立つ癒しの学習会
3月10日(木) 10:30～12:00	北杜市社会福祉協議会	介護者のつどい ～介護用品の使い方・フリートーク～

福祉車両の貸出しを行なっています

利用できる方	北杜市内在住で、車いすを利用している方のご家族等で、3年以上の運転経験のある方
利用料金	無料 ※ただし、使用した燃料代として1kmあたり、15円の実費をいただきます。
利用期間	原則として2日間以内
申請方法	利用を希望する日の2週間前までに、本所へ予約確認の上、申請書をご提出ください。 ※申請書は各支所にもあります。
その他	貸出し前に、操作法などの説明をさせていただきます。

無料法律相談開設

開設日	予約受付開始日
9月24日(木)	8月3日(月)～
11月26日(木)	10月1日(木)～
1月28日(木)	12月1日(火)～
3月17日(木)	2月1日(月)～

時 間 13:00～16:00
(相談時間：お一人30分)
会 場 北杜市社会福祉協議会
定 員 6名(定員になり次第締切)
協 力 山梨県弁護士会

「ひとり親家庭親子社会見学バス」参加者募集

毎年恒例、市母子父子寡婦福祉連合会主催「ひとり親家庭親子社会見学バス旅行」への参加者を募集します。

開催日 平成27年10月25日(日)
行き先 東京ディズニーシー
対象 市内在住ひとり親家庭の親子
定員 80名
参加費 (会員) 大人7,000円 中・高校生6,500円 小学生以下5,000円
(非会員) 大人8,500円 中・高校生7,500円 小学生以下6,000円
※参加費を添えてお申し込みください。また、参加費には交通費・入場料が含まれています。
申込期間 平成27年8月3日(月)～9月18日(金)



災害ボランティア養成講座を開催します

北杜市社会福祉協議会では、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域におけるさまざまな活動に取り組んでいます。その一環として、市内在住の災害ボランティアに関心のある方を対象に、防災・減災について考え、社協と協働して活動していただけるよう講座を開催いたします。

対象者 市内在住で災害ボランティア活動に関心のある方

定員 40名

会場 第1回～第3回 北杜市社会福祉協議会

第4回 泉小学校グラウンド

申込期限 平成27年8月6日(木)



	開催日時	内 容	講 師
第1回	8月11日(火) 19:00～20:30	防災・減災講座① 過去の災害に学んだ防災減災の方法を知り、日頃の備えの大切さを学ぶ	山梨県社会福祉協議会 福祉振興課 課長補佐 和田 豊氏
第2回	8月18日(火) 19:00～20:30	防災・減災講座② 北杜市の現状と地域で支え合う重要性を学び、社協で立ち上げる災害ボランティアセンターについて考える	・北杜市役所 地域課 防災調整監 花輪栄一氏 ・社協地域福祉課職員
第3回	8月25日(火) 19:00～20:30	災害ボランティアセンター設置運営を模擬体験する	社協地域福祉課職員
第4回	8月30日(日) 8:30～12:00	北杜市総合防災訓練にて、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実践する	社協地域福祉課職員

傾聴ボランティア養成講座を開催します

傾聴ボランティアとは、相手の方の話を聴くことで、孤独や不安を軽減させる手助けをするボランティアのことです。この講座では、「聴く」ことの持つ意味や相手の気持ちに寄り添うこと、傾聴についての基礎を学んでいただきます。関心のある方、地域や施設でボランティアとして活動している方は是非ご参加ください。

対象 市内に在住する方で、傾聴ボランティアに興味があり、4回受講できる方

定員 20名(初めての方優先)

会場 北杜市社会福祉協議会

受講料 無料

申込期限 平成27年8月25日(火)

受講日	
9月2日(水)	10:00～12:00
9月3日(木)	10:00～12:00
9月8日(火)	10:00～12:00
9月9日(水)	10:00～12:00



福祉ポスター募集

皆さんの身近な体験などを含め「福祉」や「ボランティア」への思いをポスターで表現してみませんか。

応募資格 北杜市内の小学生・中学生

募集作品 8ツ切(38cm×27cm)またはB4(36.4cm×25.7cm)の白画用紙を使用してください。画材、色彩、タテ・ヨコは問いません。

募集期間 平成27年8月3日(月)～9月15日(火)

応募方法 各学校にある応募用紙または北杜市社協ホームページよりダウンロードしていただき、氏名、電話番号など記入し、北杜市社会福祉協議会まで持参、または郵送にてご応募ください。

発表 審査の上、入賞者には直接お知らせいたします。また、入賞作品は社協ホームページに掲載するとともに、社協内に掲示させていただきます。

北杜市社協ホームページ

<http://www.shakyo.or.jp/hp/842/>

◆『緊急用食料支援事業』始めます◆

さまざまな理由により食料の確保に困窮した世帯に対し、緊急的に食料品の支援を行なうことで、地域における生活が継続されるよう支援します。

- 対象の世帯 緊急的かつ一時的に食料等の確保に困っている市内在住の世帯。
- 支援の内容 1ヶ月2回、最大3ヵ月（計6回）以内です。
- 申込の方法 社会福祉協議会にある申請書にてお申込みください。
- 開始の時期 平成27年9月1日より

★眠っている
食品大募集!!

“皆さまの食料提供が、
「緊急用食料支援事業」の支援物資になります。”

『フードドライブ』にご協力をお願いします。

■実施期間：平成27年8月18日（火）～8月28日（金）

■集荷場所：北杜市社会福祉協議会 本所

※フードドライブで皆さまからいただいた食品を、社会福祉協議会が必要な世帯にお渡しします。

- フードドライブは、食を必要とする方へお届けする食品を、市民参加で集める取り組みです。
- ご家庭等で眠っている食品がありましたら、寄贈をお願いします。

《お願いしたい食品：米・麺類、カップ麺、缶詰、インスタント・レトルト食品・飲料等》

- ・賞味期限が3ヶ月以上あるもの
- ・未開封であるもの
- ・米は常識の範囲で古くないもの 等

問い合わせ先：地域福祉課 TEL 47-5202

皆さまからの会費が福祉のまちづくりをすすめます 北杜市社会福祉協議会会費にご協力ください



北杜市社会福祉協議会（通称：社協）は、社会福祉法第109条に位置づけられた、社会福祉を目的とする福祉団体です。誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを目指し、地域福祉の推進に取り組んでいます。

社協が取り組んでいるさまざまな事業は、皆さまからの会費によって支えられています。

社協会員会費制度は地域福祉の推進と地区福祉活動のより一層の活性化を図るために創設されました。社協会員制度は、任意のものであり強制ではありませんが、地域の方々のご協力をいただきながら、住み続けたいと思える地域づくりに取り組む本会の活動の趣旨にご賛同いただき、多くの皆さまに会員としてご参加をいただけますようお願い申し上げます。

◎一般会員 一世帯 1,000円（年額）

自治会へ加入されている方は区長さんなど自治会役員の方を通して納入をお願いします。

自治会へ加入されていない方は、右記の納入書で会費納入のご協力をお願いします。

◎賛助会員 法人、団体、事業所等 1口 5,000円（年額）

社協より封書にてお願いをさせていただきます。

●各窓口受付時間 午前9時～午後5時（平日）

●納入場所がわからない場合は、お手数ですが電話でご確認ください。

平成27年度社協会費納入書

氏名	
住所	
会費	

納入場所：社会福祉協議会窓口

本所・高根支所 47-5202

明野支所 25-3289 須玉支所 42-3883

長坂支所 32-3551 大泉支所 38-0133

武川支所 26-3568 白州支所 35-2383

小淵沢支所 36-4460

社協の介護事業所

介護のことならお任せください！



ふれあい広場

ふれあい広場は、要介護認定で要支援となった方、虚弱高齢者などを対象にした介護予防事業です。運動機能の維持向上を目指して体操やレクレーションなどを行っています。



室内大運動会

6月末“ふれあい広場”では、じめじめした梅雨の時期こそ、元気に過ごしていただけるように『室内大運動会』を各会場にて行いました。

入場行進から始まり、キャプテンによる選手宣誓!“玉入れ”や“パンくい競争”など全9種目の競技…と本格的な運動会。皆それぞれが出来る範囲で職員と一緒に各競技に参加しました。

どのプログラムも、とっても盛り上がった内容になり、会場内は常に笑い声や笑顔で包まれていました。



『そっちそっち！ あっちじゃないよ～！』
と大熱戦の風船ゲーム！



『かごに入れるんだよ～！ あれ～うまいじゃん！』
イスに座ったまま投げることがルールの玉入れ！



『ほんじゃいくよ～ それ～！』
ふたりで仲良く息を合わせて…輪投げ！



『青チームも赤チームも大変頑張りました！ばんざーい！』
最後は手作りカップで表彰式です！



★これからも皆さんが日常生活を元気いっぱいにご過ごしていけるよう
全力投球で頑張っていきます。

～ ふれあい広場スタッフ一同 ～

ふれあい広場事業所
TEL 090-5321-4611

コラム

新地域支援事業成功実現に向けて 今こそ老人クラブの出番が!!

北杜市老人クラブ連合会 会長 日向 三郎



介護保険制度が見直され、訪問介護・通所介護等のサービスは、平成27年度から向こう3年間に於いて各行政地域独自の新地域支援事業として取り組み、対応していかなければならないことになり、老人クラブ・元気な高齢者・各種団体が介護予防・生活支援の担い手となるべく、行政との対応計画を図り、実現に向けて動き出すことになりました。当老人クラブとしてもこの制度確立の一役を買うため取り組みが必須となります。

私達の身近でも、要支援高齢者はますます増加の傾向にあります。また、私達自身も介護が必要となり、生活を支える様々なサービスを必要とする時いずれきます。明日は我が身と心得、新地域支援事業に於いて、これまで私達が取り組んできた、健康づくり・介護予防活動・友愛活動等の経験を生かしながらこの新地域支援事業の協議の場に参画して、我々のできる範囲の介護予防・生活支援の活動に取り組みたいです。すなわち、具体的には地域交流サロン・コミュニティカフェ・体操教室等の通いの場づくりや栄養改善を目的とした配食、一人暮らしの高齢者等の見守り・声かけ・安否確認・ゴミ出し・外出支援等の生活支援があります。地域の関係機関・各種団体と共に担うことを一緒に考え協働・行動しながら、あらゆる機会で開催・イベント等を活用して各町の老人クラブに周知を図り、この制度確立の成功に向けて今後精一杯の努力をしたいと考えています。これからの老人クラブの積極的な活動が社会的にも認知されれば、会員増強にもつながっていくと考えているからです。

社協職員が行く!!

今回は、明野町のボランティア友の会サン・愛会長の皆川みさをさんにインタビューしました。

Q ボランティアを始めたきっかけは？

長年、仕事をしていたので、職場と家のことばかりで地域のことにあまり協力できませんでした。38年間の務めを終え、おかえしの気持ちで何かできることはないかと思い、サン・愛に加入しボランティア活動を始めました。

Q ボランティアの内容は？

現在、89名の会員で活動しています。活動内容は、一人暮らし高齢者への配食サービス・会食サービスのお弁当作りや会食後に行うレクリエーションで踊りや歌を披露しています。その他には明山荘のデイサービスセンターへ週2回3人一組で行き、利用者さんの話し相手、風呂上がりの手伝い、お茶だし等の活動や町内の環境美化活動への参加、子育て支援なども行っております。また、年に一度は旅行に行き、会員相互の親睦を深めています。

Q ボランティアをしていてよかったこと、うれしかったことは？

仲間同士の繋がりができたことや、ボランティアを受ける方が喜んでくれることです。会食サービスの時など「おいしかったよ」「次回が楽しみ」などの声を聞くと、次も心を込めて作ろうと思います。

Q ボランティアとして考えていること伝えたいこと

ボランティアをしている方は女性が多いように思いますが、男性にももっと積極的に参加してほしいです。また、若い世代の方にも参加していただき、ボランティア推進の町にしていきたいです。これからも、声かけをしていきますので、会への加入をお願いします。



『社協だよりほのぼの』は、市民の皆様から寄せられました善意の赤い羽根共同募金の配分金の一部を財源としています。